

あきた新エネルギーカレッジ 業務実施報告書

1 開催概要

- (1) 目 的：本市に導入された再生可能エネルギー関連施設の見学や関係企業の社員との意見交換等により、再エネ関連産業に対する意識の醸成を図り、将来の進路選択につなげる
- (2) 日 時：令和7年8月27日から同月29日まで
- (3) 参加者：大学生8名（1名体調不良により欠席）
（内訳）
- | | |
|---------------------------|------------|
| ・秋田大学 国際資源学部 | 5名 |
| ・秋田工業高等専門学校 電気情報工学コース理工学部 | 1名（初日のみ参加） |
| ・ノースアジア大学 経済学部 | 1名 |
| ・山形大学 地域教育文化学部 | 1名 |
- (4) その他：本事業は、秋田洋上風力発電株式会社様からの寄附金を活用した事業である。

2 報告概要

- (1) 昨年度のアンケート結果を踏まえ、27日(午後)、28日・29日（終日）の行程で実施した。
- (2) 学生が主体的に取り組むとともに、学生間のコミュニケーションの活性化と今後の関係性の構築を図るため、今年度より「グループワーク」を実施し、最終日に発表会を開催した。
- (3) グループワークのテーマは、幅広い分野まで議論が可能となるものを設定した。また、本テーマを踏まえた講義となるよう、各講師と調整を行った。

【グループワークテーマ】
～『再エネ×秋田市』～
秋田市ならではの再エネを活用した地域活性化策を考えよう！

- (4) カリキュラムの設定については、昨年度の流れを踏襲しつつ、学生の体験時間を多く確保する内容とした。
- (5) アンケートの結果、カレッジの講義内容やボリューム等に肯定的な意見があったほか、今年度より実施したグループワークにおいても肯定的な意見が多くあった。

3 全体行程

8月27日（1日目）

時間	内容	講師	場所
12:30 ～	学生集合	—	秋田駅
13:00 ～ 13:20	オリエンテーション	新エネルギー産業推進室	セリオン会議室 「イベントホール」
13:20 ～ 13:30	グループワーク進め方	秋田洋上風力発電(株) 様	
13:30 ～ 14:00	秋田港洋上風力発電所について	秋田洋上風力発電(株) 様	
14:00 ～ 14:30	洋上風力発電を活用した 地域活性化	秋田洋上風力発電(株) 様	
14:40 ～ 15:50	洋上風力発電所におけるO&M	丸紅洋上風力開発(株) 能代運転管理事務所	
16:00 ～ 16:15	洋上風力発電所見学	秋田洋上風力発電(株) 様	飯島サンセットパーク
16:45 ～	学生解散	—	秋田駅

8月28日（2日目）

時間	内容	講師	場所
9:30 ～	学生集合	—	秋田駅
10:00 ～ 11:30	地元企業によるバイオマス発電	ユナイテッド・リニューアブル・エナジー(株) 様	同所発電所内
12:00 ～ 13:00	昼食	—	セリオン周辺
13:15 ～ 13:45	再生可能エネルギーの必要性と拡大 に向けた取組みについて	東北電力(株)秋田支店 様	風力トレーニング センター 「秋田塾」
13:45 ～ 15:00	市内で行われる人材育成	東北電力RENESES(株) 様	
15:15 ～ 16:30	グループワーク作業	—	
17:00 ～	学生解散	—	秋田駅

8月29日（3日目）

時間	内容	講師	場所
9:30 ～	学生集合	—	秋田駅
10:00 ～ 10:45	地元企業による風力メンテナンス	(株)ホサカ 様	同所事業所内
11:00 ～ 11:45	地元企業による陸上風力発電事業	(株)ウェンティジャパン 様	秋田潟上W F
12:00 ～ 13:00	昼食	—	秋田市役所周辺
13:00 ～ 15:00	グループワーク作業	—	秋田市役所内 「第2委員会室」
15:00 ～ 16:00	発表会	—	
16:00 ～ 16:30	修了式	—	
17:00 ～	学生解散	—	秋田駅

4 講義内容

(1) 27日(水) 講義

①オリエンテーション

- ・新出担当部長あいさつ
- ・職員紹介
- ・行程・注意点確認
- ・秋田市のエネルギー施策



②「グループワークの進め方」13:20~14:00

(講師) 秋田洋上風力発電(株) 代表取締役 井上 聡一 様

(内容)

- ・グループワークの進め方を説明するとともに、議論してもらうテーマについて説明を行っていただいた。



グループワークのテーマ

～『再エネ×秋田市』～
秋田市ならではの再エネを活用した地域活性化策を考えよう！

PRESENTED BY
秋田洋上風力発電 株式会社
Akita Offshore Wind Power Generation Co., Ltd.

③「秋田港洋上風力発電所について」 13:30~14:00

④「洋上風力発電を活用した地域活性化」14:00~14:30

(講師) 秋田洋上風力発電(株) 代表取締役社長 井上 聡一 様

(内容)

- ・秋田港洋上風力発電所の事業概要について座学形式での講義をしていただいた。
- ・また、グループワークのテーマに沿って、同社が行う地域活性化策について講義をしていただいた

⑤「洋上風力発電事業における「O&M」」14:40 ~ 15:50

(講師) 丸紅洋上風力開発(株) 能代運転管理事務所 所長補佐 高梨 弘輝 様

(内容)

- ・洋上風車メンテナンスの状況について説明を受けた。
- ・秋田県南部沖の浮体式洋上風力事業に関する説明をしていただいた。
- ・フルハーネスの着用体験もあり、希望者2名が着用体験をした。

⑥「洋上風力発電所見学」16:00～16:15

(講師) 秋田洋上風力発電(株) 代表取締役社長 井上 聡一 様

(内容)

- ・飯島サンセットパークより、実際の洋上風力発電所の見学を実施した。



(2) 28日(木) 講義

①「地元企業によるバイオマス発電」10:00~11:30

(講師) ユナイテッドリニューアブルエナジー(株) 渡辺 修 様

(内容)

- ・同社のバイオマス発電の事業概要について座学で説明を受けた。
- ・実際に構内を見学し、木質チップや発電機を間近で見学した。



②「再生可能エネルギーの必要性と拡大に向けた取組みについて」

13:15~13:45

(講師) 東北電力(株)秋田支店 地域共創本部 主査 鳥井 修 様

(内容)

- ・同社がこれまで取り組んできた電力事業のほか、再生可能エネルギー導入拡大に向けた取組について座学形式にて講義いただいた。
- ・また、グループワークのテーマに沿って同社が行う再エネ電力の地産地消に向けた取組について紹介いただいた。



③「地元で行う「人材育成」」 14:45 ～ 15:45

(講師) 東北電力リニューアブルエナジー・サービス(株)

常務取締役 技術部長 大原 智成 様

技術部担当課長 高橋 浩気 様

(内容)

- ・東北電力リニューアブルエナジーが取り組む人材育成とその意義について、座学を実施した。(10分程度)
- ・その後、全員(2名は見学のみ)によるフルハーネスの着用と高所作業での安全な体位の作り方を施設内のはしご設備を活用し体験した。



④「グループワーク作業①」 15:15 ～ 16:30

(アドバイザー) 東北電力リニューアブルエナジー・サービス(株)

常務取締役 技術部長 大原 智成 様

技術部担当課長 高橋 浩気 様

(内容)

- ・全行程をとおり、初めてのグループワーク作業であったが、各班で活発な意見交換が行われていた。
- ・各班が提案内容の方向性を決定し、最終日の作業に向け準備を進めていた。
- ・アドバイザーからは、グループワークの進め方や学生のアイディアに対してのアドバイスをいただいた。



(2) 29日(金)

ア 講義

①「地元企業による風力メンテナンス」10:00~11:00

(講師) (株)ホサカ 代表取締役 保坂 省吾 様

(内容)

- ・ 同社が行っているメンテナンス事業について説明を受けた。
- ・ タダノ社の電動クレーンについても手配いただき、国内最先端の低炭素重機の見学を行った。
- ・ 現場で使用するクレーン(スカイバケット)への乗車体験を行い、地上40メートルの高さを経験した。



②「地元企業による陸上風力発電事業」11:15~11:45

(講師) ウェンティジャパン(株) 梶原 将 様

(内容)

- ・ 秋田市飯島に所在する陸上風車にて事業の概要の説明を受けた。
- ・ 地上に置いているブレードに触れるなど発電設備を間近に見学した。



イ グループワーク

①「グループワーク作業②」13:30~15:00

(アドバイザー) 秋田洋上風力発電(株) 代表取締役 井上 聡一 様

(内容)

- ・ A班は「再エネツーリズム」をテーマに模造紙とA4用紙をそれぞれ1枚使用した資料を作成した。
- ・ B班は「再エネまるごと体験イベント」をテーマにパワーポイントで資料を作成したほか、ホワイトボードを活用し資料を作成した。



②「グループワーク発表会」15:00~16:00

(講評者) ・ 秋田洋上風力発電(株) 代表取締役 井上 聡一 様

・ 秋田市再生可能エネルギー推進検討委員会 委員長 齊藤 永吉 様

・ 秋田市新エネルギー産業推進担当部長 新出 康史

(内容)

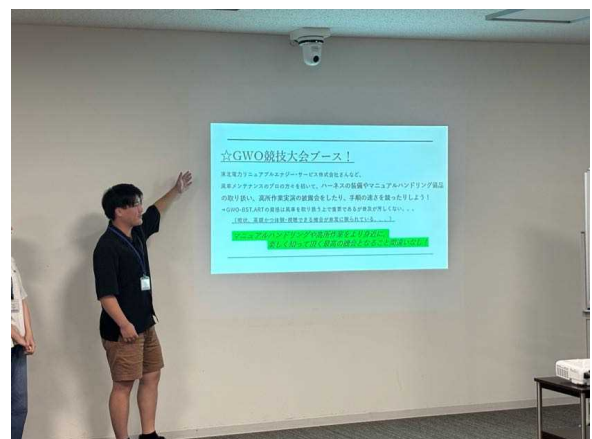
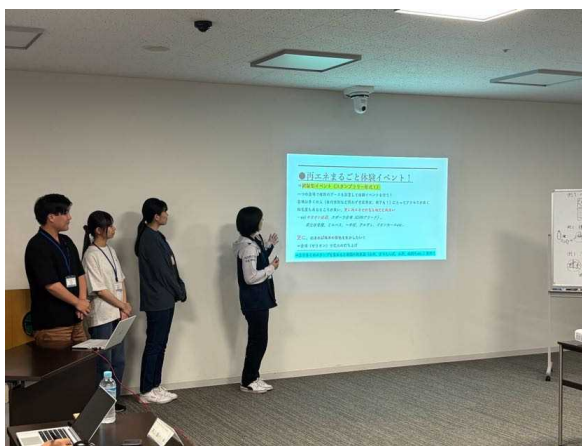
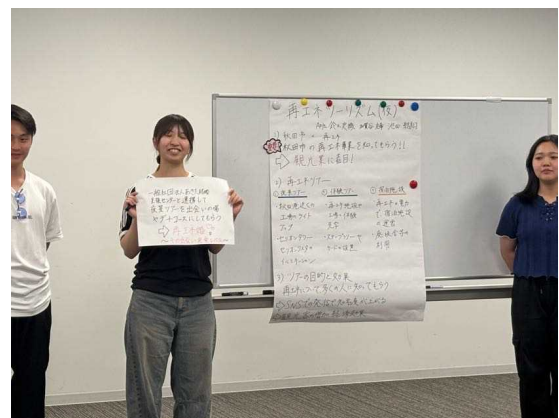
- ・ 1班あたり10分程度で発表を行い、各講評者より講評をいただいた。
- ・ 全班の発表終了後、井上社長より全体講評をいただいた。

【A班の発表概要】

- ・ 再エネを「知ってもらおう」という観点から「再エネツアー」の実施が提案された。
- ・ 具体的には、「①再エネ施設をライトアップする夜景ツアー」「②再エネ施設の見学やスタンプラリー」「③再エネ電力を活用した宿泊施設の建設」が提案された。
- ・ また、夜景ツアーを出会いの場として活用する「婚活イベント（再エネ婚）の開催」といったアイデアが出た。

【B班の発表概要】

- ・ 人流の創出という観点から「再エネイベントの実施」が提案された。
- ・ 具体的には、1つの会場内に「VR体験ブース」「ペーパークラフトや工作を実施するブース」「タービンなどの展示ブース」「GWO競技ブース」のほか、野外には高所作業車などを活用した乗車体験ブースを設置することが提案された。



ウ 修了式

- ・秋田市長あいさつ
- ・修了証書授与
- ・記念撮影



5 アンケート結果

【設問1】 参加のきっかけ ※複数回答可

選択肢	回答数
・再エネに興味があった	4
・卒論・研究のテーマに関連があった	1
・将来の進路の選択にしたかった	5
その他	4
・ 招待いただいた	(1)
・ 去年テレビでエネルギーカレッジを見て 行きたいと感じたため	(1)
・ 企業さんに説明していただけると聞いて	(1)
・ グループワークに興味があった	(1)

【設問2】 カレッジを知ったきっかけ ※複数回答可

選択肢	回答数
・ ホームページ	1
・ 広報あきた	2
・ 学校の掲示板	－
・ 先生の紹介	3
・ 知人の紹介	1
・ 学校のポータルサイト	1
・ キャリピタあきた	－
・ あきエコどんどんプロジェクト	－
その他	1
・ 市役所からの連絡	(1)

【設問3】 講義全体のボリューム

選択肢	回答数
・ 多かった	2
・ やや多かった	－
・ ちょうどいい	5
・ やや少なかった	－
・ 少なかった	－

【設問4】 講義全体の満足度

選択肢	回答数
・ 満足	7
・ やや満足	-
・ 普通	-
・ やや不満	-
・ 不満	-

【設問5】 各講義の満足度

(1日目)

①秋田港洋上風力発電所について
洋上風力発電を活用した地域活性化

満足	7
やや満足	-
普通	-
やや不満	-
不満	-

②洋上風力発電所におけるO&M

満足	7
やや満足	-
普通	-
やや不満	-
不満	-

(2日目) ※2日目欠席した学生がいるため合計値が一致しない

①地元企業によるバイオマス発電

満足	6
やや満足	-
普通	-
やや不満	-
不満	-

②再生可能エネルギーの必要性和拡大に向けた取組みについて

満足	5
やや満足	-
普通	1
やや不満	-
不満	-

③地元で行う「人材育成」

満足	5
やや満足	-
普通	1
やや不満	-
不満	-

(3日目)

①地元企業による風力メンテナンス

満足	7
やや満足	-
普通	-
やや不満	-
不満	-

②地元企業による陸上風力発電事業

満足	7
やや満足	-
普通	-
やや不満	-
不満	-

(グループワークについて)

①満足度

満足	6
やや満足	1
普通	-
やや不満	-
不満	-

②難しさ

易しい	-
やや易しい	2
普通	1
やや難しい	3
難しい	1

【設問6】 次回、学習したい分野や現在、関心がある分野を教えてください

※複数回答可

〈再エネ発電関係〉

選択肢	回答数
洋上風力発電	5
水力発電	2
バイオマス発電	1
メガソーラー（太陽光）発電	2
廃棄物発電	2
その他	1
地熱発電	(1)

〈再生可能エネルギーに関連する技術〉

選択肢	回答数
メンテナンス事業	2
水素・アンモニア・合成燃料	4
ドローン操作	2
その他	-

〈その他関連技術〉

選択肢	回答数
CCS・CCUS	3
太陽光パネルリサイクル技術	4
風車部材リサイクル技術	3
その他	3
風車内の設備	(1)
秋田市のエネルギー施策面	(1)
金属（レアメタル）リサイクル技術	(1)

【設問7】 参加しやすい日数および時間帯を教えてください

①日数

選択肢	回答数
1日	－
2日	3
3日	3
4日	1
5日以上	－

②時間帯

選択肢	回答数
終日（午前と午後）	6
午前のみ	－
午後のみ	1

【設問8】 その他、ご意見・ご要望・ご感想などをお聞かせください。

- ・グループワークの時間をもう少し長くにとってほしかった。
- ・再生可能エネルギーへの興味がさらに深まる非常に有益なカレッジでした。
- ・楽しかったです。本当にありがとうございました。
- ・参加者の皆や事業者の方々とコミュニケーションを取ることができる場がとても多くて楽しかったです。事業者の方々や現場の方、専門職の方々の意見を聞ける機会はとても貴重なのでとても満足です。
- ・文系、理系両方の観点を用意、またはどちらかに絞るなどしてもいいかもしれないと思います。
- ・カレッジを開催・運営していただいた講師や職員の方々、3日間ありがとうございました。充実した3日間でした。
- ・普通ではできない経験を多くさせていただいて、学びの多い充実した3日間でした。本当にありがとうございました。グループワークを通してたくさん意見交換ができたのも非常に良かったです。

以上